

リニア残土学習会

守られるのか？土地と水の安全。

「採石場跡地への盛土は なぜ危険なのか」

2020年2月23日(日)

講師・桂川雅信氏

資料代
500円

13:30~16:00

イオン橋本店 6F

ソレイユさがみ セミナールーム2

■講師プロフィール

日本科学者会議長野支部幹事
伊那谷・残土問題連絡協議会共同代表
技術士・環境アドバイザー

リニア新幹線の非常口が変更されました。

藤野トンネル区間(道志川~山梨県上野原市)の非常口は、
新戸(旧相模湖町)と大洞(旧藤野町)になります。

それぞれの非常口からは大量の残土が搬出されるでしょう。

この残土は採石場跡地に埋められます。

新戸採石場には他地域からの残土に、リニア残土56万m³を含む125万m³、

大洞採石場には少なくとも46万m³が盛土される計画です。

新戸、大洞両採石場ともに直下を横浜水道の水源である道志川が流れています。

横浜市は水源への影響を危惧して、対応の徹底を求める要望書をJR東海と相模原市に提出。

しかし、JR東海も相模原市も「採石法と残土条例で適切に」と口を揃えますが、
その実体は業者まかせです。

大型台風や年々強まる異常降雨、遠くない将来「起こる」と予想される巨大地震。

大量の残土でこの地を埋め、土砂を盛ることの危険性をともに考えていきましょう。

リニア新幹線を考える相模原連絡会

代表 浅賀きみ江

〒252-0144 相模原市緑区東橋本 2-6-2

■連絡先 TEL 042-689-2142 (河内正道)